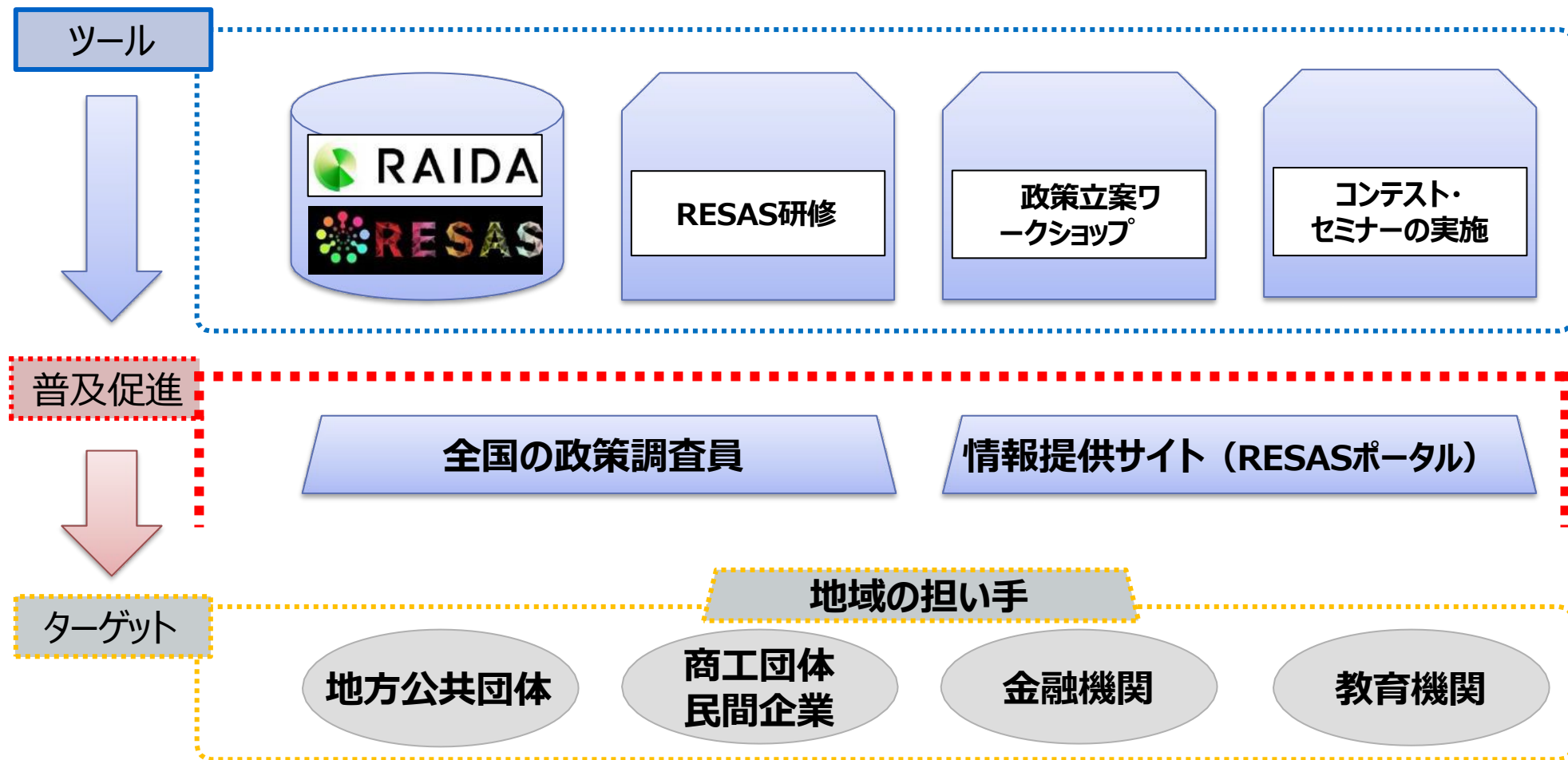


**地域経済分析システム（RESAS）、
デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）について**
地域経済の「見える化」に向けた取り組み

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
内閣府地方創生推進室 ビッグデータチーム

地域におけるデータ利活用の拡大に向けた取組の概要

- ビッグデータチームでは、地方創生の推進に向けた取組を支援するため、地域のデータ利活用拡大に向けた普及促進活動を実施。
- 地域の担い手をターゲットに、システムや研修、ワークショップ等のツールを用いて、全国の政策調査員や情報提供サイトを通じた普及促進活動を行っている。



I. 地方公共団体の政策立案におけるデータの活用支援ツール (RESAS・RAIDA)

II. 地域におけるデータ活用の普及促進施策

I 地方公共団体の政策立案における データの活用支援ツール（RESAS・RAIDA）

地域経済分析システム（RESAS）と デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）

- **RESAS（リーサス）**（Regional Economy Society Analyzing System）は、**地方創生版・三本の矢の情報支援**として、地域経済に関連する様々な**ビッグデータ**を「見える化」するシステム。2015年4月より開始。
- **RAIDA（レイダ）**は、効果的なデジタル実装施策を支援するため、データにより地域課題を捉え、分析・考察することをサポートし、施策目標の達成を後押しするプラットフォーム。2024年1月より開始。



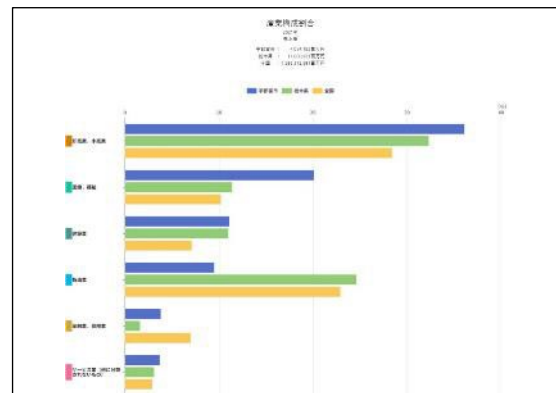
地域経済循環 マップ

自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能。



産業構造マップ

地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造を、付加価値、従業員数、企業数などから把握可能。

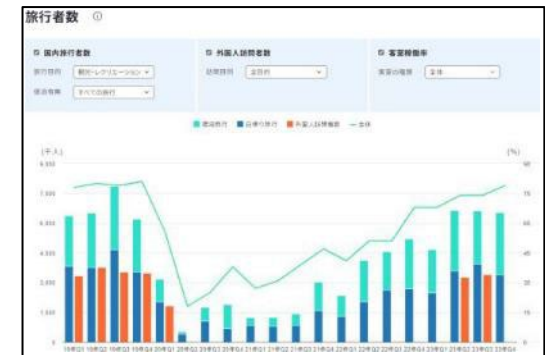


ほか、人口、医療など
全9マップを公開



旅行データ

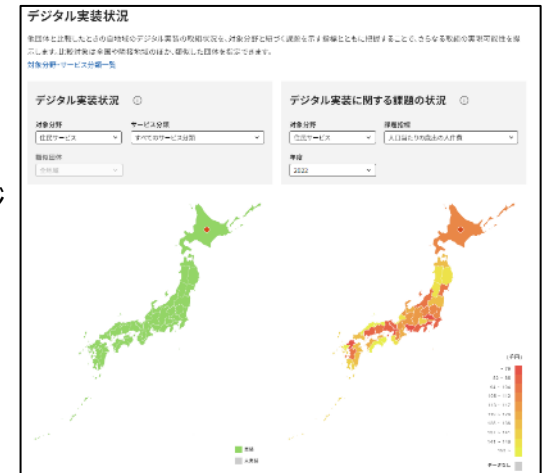
新型コロナウイルス感染症流行後の経済回復状況を理解し、観光需要を刺激する施策効果の検証のため、各都道府県の旅行・観光の消費実態を把握可能。



デジタル実装データ

地方公共団体によるデジタル実装の計画策定や取組を支援するため、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の事例を地図や一覧から確認可能。

ほか、物価高騰・円安データ
を含め全3テーマを公開



地域経済分析システム（RESAS）

※本システムは経済産業省 中小企業庁 事業環境部 企画課 調査室が運用

- 地域経済を活性化する上で、**地域の現状・実態の正確な把握**が必要不可欠。
- このため、地域経済に関連する様々な**ビッグデータ**を「見える化」するシステム（RESAS）を構築し、地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月より提供。
- 地域のデータ分析の「入り口」として、**初心者でも簡単に使えるシステムを実現**。各自治体が「地方版総合戦略」のKPIを設定する際など、地域政策の現場で幅広く活用。

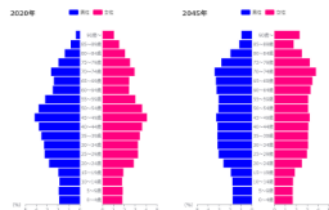


地域経済分析システム（RESAS）マップ一覧

※RESASデータ一覧は地方創生HPに公開

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/pdf/resas_update.pdf

①人口マップ



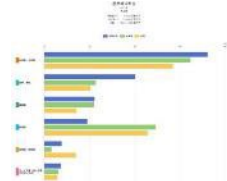
人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ



自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ



地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ



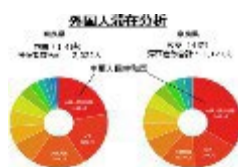
地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤消費マップ



POSデータによる消費の傾向や外国人の消費構造が把握可能

⑥観光マップ



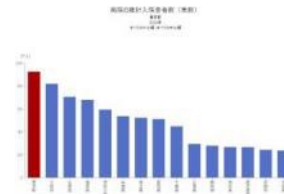
国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑦まちづくりマップ



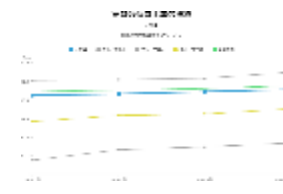
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報が把握可能

⑧医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑨地方財政マップ

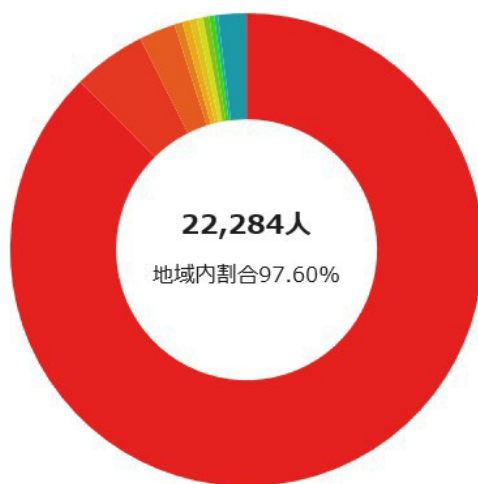


各自治体の財政状況が把握可能

自治体におけるRESAS活用事例（福岡県うきは市役所）

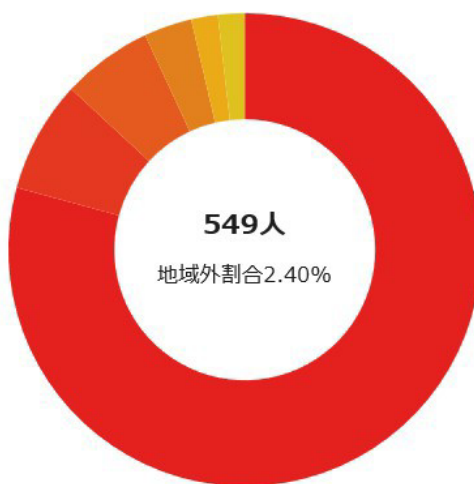
- 福岡県南部のうきは市には温泉などがあり、もともと福岡市への観光PRを行っていたが、分析により想定よりも福岡市からの観光客は少ないことが判明。
- そのため、佐賀や大分を含む近隣地域と連携したPRに力を入れることにした。

うきは市の滞在人口（平成26年4月、14時）県内／県外



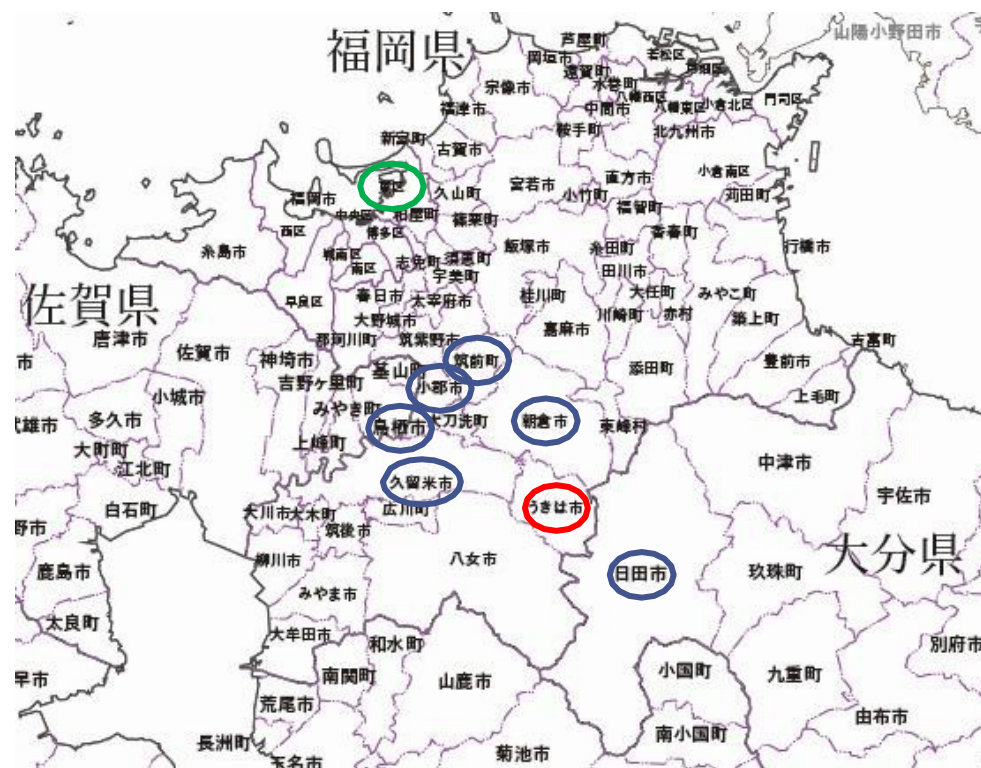
滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 福岡県うきは市 19,513人 (87.57%)
- 2位 福岡県久留米市 1,116人 (5.01%)
- 3位 福岡県朝倉市 553人 (2.48%)
- 4位 福岡県福岡市東区 121人 (0.54%)
- 5位 福岡県小郡市 117人 (0.53%)
- 6位 福岡県筑前町 107人 (0.48%)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大分県日田市 435人 (79.23%)
- 2位 佐賀県鳥栖市 42人 (7.65%)
- 3位 長崎県佐世保市 34人 (6.19%)
- 4位 大分県中津市 18人 (3.28%)
- 5位 大分県杵築市 10人 (1.82%)
- 6位 広島県広島市安佐南区 10人 (1.82%)



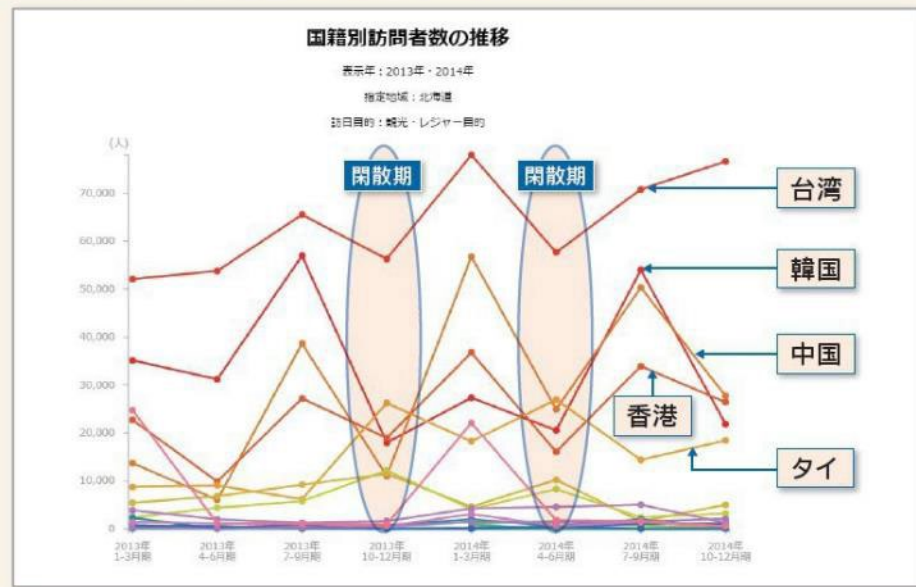
まちづくりマップ> From-to分析（滞在人口）

（資料）株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」総務省「平成27年国勢調査」

自治体におけるRESAS活用事例（北海道札幌市役所）

- 札幌市の外国人訪問者は台湾・中国・韓国・香港の割合が高く、台湾・中国・韓国・香港からの訪問者は夏期（7～9月）と冬季（1～3月）の繁忙期に多く、タイは春期（4～6月）と秋期（10～12月）の閑散期に訪問者数のピークがある。タイの観光客は閑散期の集客が見込める重要な顧客であることが分かった。また、札幌駅及び大通駅周辺3km圏の滞在人口が最も多いことに加え、札幌市郊外にも5箇所ほど一定の滞在人口があることが分かった。
- 札幌駅周辺だけでなく、郊外にも観光案内サインの設置や多言語化の対応等、外国人受入環境の整備をすることとした。

■(第1-1-2図)観光マップ 外国人訪問分析 国籍別訪問者数の推移
[2013年・2014年 北海道 観光・レジャー目的]



■(第1-1-3図)観光マップ 外国人メッシュ分析
[2014年11月～2015年4月 北海道札幌市 ※1kmメッシュで表示]



観光マップ> 外国人メッシュ

(資料) 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）

- 2024年1月31日にRAIDAサイトをリリース。V-RESASで提供していた「旅行」データに相当する「感染症回復：旅行」及び、「物価高騰・円安」の2つの政策課題別タブを公開。
- 2024年3月13日に、「デジタル実装」のタブを公開。デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）によるデジタル実装への取組状況を可視化することで、更なるデジタル実装の検討加速を支援する。
- また、生成AIを活用した、データ分析ロールプレイ支援機能「RAIDA-AI」を搭載。現在は「地域の人口減少対策」について分析が可能。希望する地方公共団体に限定して公開している。

RAIDAとは

政府が公開しているwebサイト「デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォーム」の愛称。
アラビア語で「先導者、探究者」を意味する「RAIDA」に由来し、各アルファベットはRAIDAの機能や役割を示す下の英単語の頭文字でもある。

R Regional issue（地域課題）を
A Analysis（解析）し
I Insight（洞察・考察）し
D Data-Driven and Digital（データによる意思決定）と
A Accelerate digitalization（デジタル化を加速）

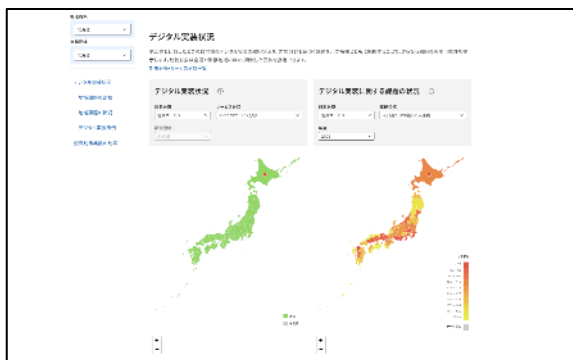


<<https://raida.go.jp/>>

感染症回復：旅行 マッシュアップ



デジタル実装への取組状況マップ/ デジタル実装事例の検索機能



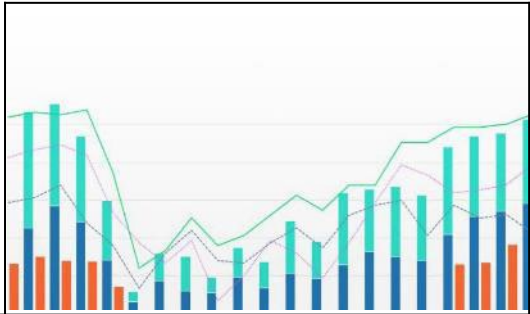
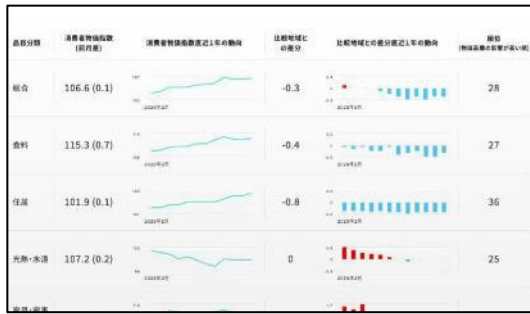
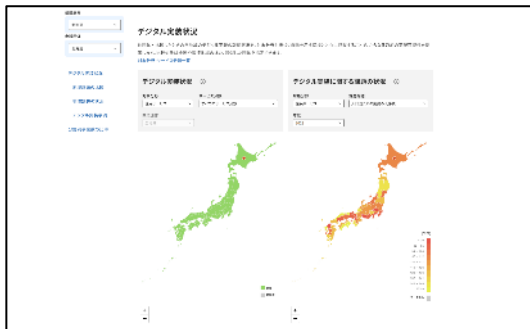
物価高騰・円安（全体像の把握→課題特定に向けた詳細な分析）



生成AI（RAIDA-AI）によるデータ分析支援



RAIDAの搭載データ

テーマ	概要	データ項目	使用データ
感染症回復：旅行 	新型コロナウイルス感染症流行後の経済回復状況を理解し、観光需要を刺激する施策の効果を検証するため、日本国内の旅行・観光の消費実態に関するデータを提供。	- 旅行消費額 - 旅行者数 - 都道府県別の動向 - 都道府県別の国内旅行単価	- 国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」（四半期更新） - 国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」（四半期更新） - 国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」（月次更新）
物価高騰・円安 	地域の物価と消費負担の実態を理解できるよう、物価高騰の影響が特に大きい品目の把握にあたり参考となる関連データを提供。	- 全体像を把握する分析 - 課題特定に向けた詳細な分析	- 総務省「2020年基準消費者物価指数」（月次更新） - 総務省統計局「家計調査結果」（月次更新）
デジタル実装 	地方公共団体によるデジタル実装の計画策定や取組を支援するため、全国のデジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の事例を地図や一覧などから確認可能。	- デジタル実装状況 - 分野別事業数の比率 - 全国のデジタル実装事例	内閣府「デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）交付対象事業」

RAIDAによる分析事例「感染症回復：旅行」

- RAIDA「感染症：旅行回復」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた足もとの地域経済に対する施策検討、インバウンド観光復活や全国旅行支援などの需要回復に向けた施策の効果を把握できるよう、旅行者の消費動向に関するデータを搭載。
- 旅行消費額や旅行者数の推移からは地域の観光に対する需要の回復状況が把握可能であり、さらに旅行目的や宿泊有無を分けた推移の分析を通じて、旅行者の消費動向の違いを区別した需要の回復状況を把握可能。
- また、訪日外国人の消費額や訪問者数、宿泊施設の客室種類別の稼働率のデータと組み合わせることで、より具体的な施策検討と効果検証が可能。



＜北海道の旅行者数データに関する示唆＞

- 20年Q1からQ2にかけて宿泊旅行と日帰り旅行の割合が逆転。
→コロナの影響により、遠方からの観光客は旅行を自粛し、近辺からの日帰り旅行者の割合が増加したと考えられる。
- 20年Q3で宿泊旅行者数が大きく増加し、同Q4で宿泊旅行者数が日帰り旅行の割合を逆転。
- 客室稼働率を見てみると、コロナ禍においては各種宿泊施設で通常の宿泊稼働率から約3~4割ほどの落ち込みが見られた。比較的落ち込みが緩やかだったのはビジネスホテルや会社・団体の宿泊施設であり、特に落ち込みが大きかったのはリゾートホテルや旅館。

RAIDAによる分析事例「物価高騰・円安」

- RAIDA「物価高騰・円安」では、物価高騰・円安の影響について、地域別や品目別に分析を行うことで、各地域の実情に応じたきめ細やかな施策立案を支援。
- 物価高騰・円安の影響の全体像を把握するために、消費者物価指数の分類別の指数の動向を俯瞰することで、地域で物価高騰の影響が強く支援が必要な品目を特定し、課題特定に向けた詳細な分析をするために、分類別の指数を掘り下げて分析することで、地域において家計の消費負担が大きいと想定される品目や他地域との詳細な比較が可能。

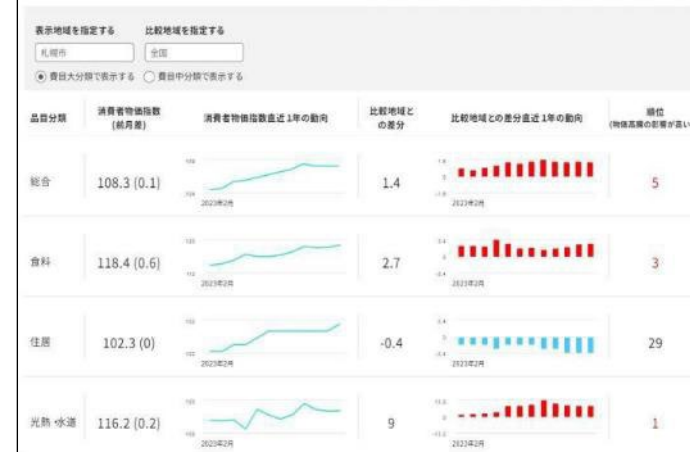
課題特定に向けた詳細な分析



＜札幌市の物価データに関する示唆＞

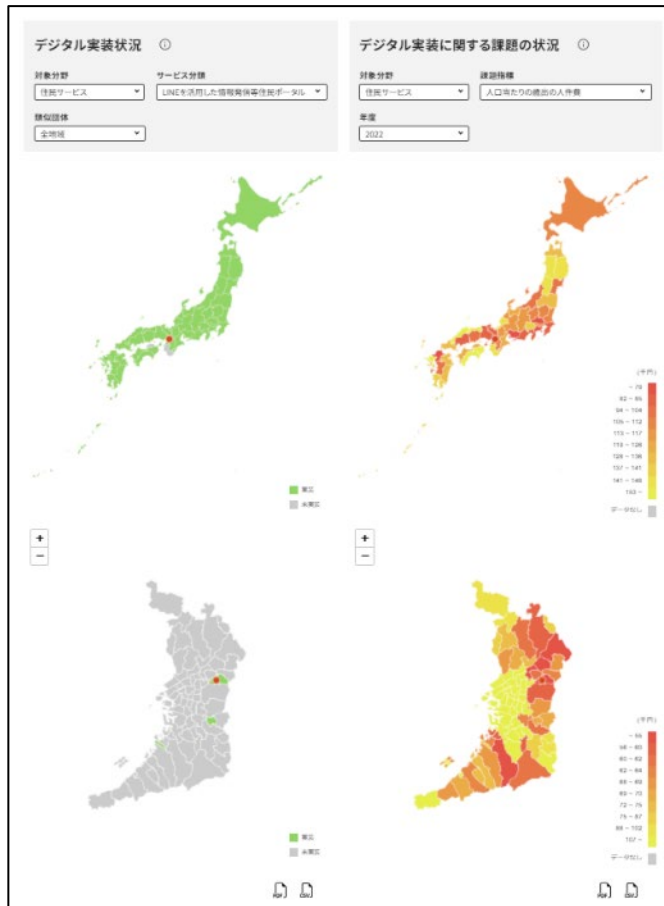
- 消費者物価指数を大分類の単位でみると「光熱・水道」の分類がここ1年全国と比して高く推移しており「物価高騰の影響が高い順」においても1位となっている。
- 「光熱・水道」の分類を費目別にみていくと、特に高く推移しているのは「他の光熱」（灯油）。次いで、電気代、ガス代、と続く。電気代・上下水道・ガス代の消費者物価指数は、2019年前半は、大きく差分がなかったが、2022年中盤から後半にかけて差が開いた。

全体像を把握する分析



RAIDAによる分析事例「デジタル実装」

- RAIDA「デジタル実装」では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の採択結果等を活用し、地域のデジタル実装状況とオープンデータを重ね合わせることで、課題状況を可視化している。
- 地図やグラフを用いた可視化を行うことで、他の自治体の事例を参考したデジタルサービスの実装、実施施策の優先度検討、検討施策の効果把握、実施施策の効果検証を支援している。



＜大東市のデジタル実装に関する示唆＞

- サービス分類「LINEを活用した情報発信等住民ポータル」については、デジタル実装が進んでいる。
- 「人口当たりの歳出の人口費」については、類似団体（人口規模等）や全国、都道府県と比較して、低い数値となっている。
- 「転入率人口当たりの転入数」については、類似団体（人口規模等）や全国、都道府県と比較して低い数値となっているため、今後注力していく必要がある。

大阪府大東市の地域課題の状況

比較対象		類似団体	類似団体	今後注力するポイント		
		類似団体	類似団体	類似団体	類似団体	類似団体
分野	課題指標	年度	大阪府大東市	類似団体	全国	都道府県
行政サービス	手続のオンライン利用率	2022	56.17%	61.22%	54.71%	62.16%
	人口当たりの歳出の人口費	2022	49千円	62千円	129千円	75千円
住民サービス	人口当たりの歳出の人口費	2022	49千円	62千円	129千円	75千円
	転入率(人口当たりの転入数)	2023	3.30%	4.17%	3.50%	3.68%
	転出率(人口当たりの転出数)	2023	3.58%	4.22%	3.87%	4.02%
教育	学習者用PC1台当たりの児童生徒数	2023	0.9人	0.9人	0.9人	0.9人
	教員1人当たりの児童数(公立)	2024	12.94人	14.48人	10.77人	12.87人
	教員1人当たりの生徒数(公立)	2024	10.60人	13.30人	9.82人	11.62人

RAIDA-AI(データ分析支援機能)

- 生成AIを活用した「データ分析支援機能」を開発し、RAIDA上にユーザー限定メニュー（※）として搭載。
- 現在は「地域の人口減少対策」についてデータ分析が可能。
- 分析対象地域を入力すると、自動で対象地域のデータ分析を開始し、データ分析の結果として得られる示唆を文章形式で表示。分析結果サマリー（まとめ）も表示。
- データ分析をする中で、どのような示唆を得て、どのように施策立案検討をしていくか、ロールプレイできるコンテンツであり、地方公共団体職員向けのデータ利活用推進のための研修素材として活用することも可能。

※希望する地方公共団体にログイン用IDおよびPWを付与して限定的に公開するメニューです。

※ログイン用IDおよびPWの申請は随時受け付けています。

ご利用を希望する地方公共団体の方は、申請方法について、[お問合せフォーム](#)からご連絡ください。

分析ロールプレイ

以下の項目について、選択した地域のデータから得られる分析結果を自動で表示することで、分析業務を支援。

- 人口構成
- 人口増減
- 自然増減
- 社会増減
- 将来人口推計



分析サマリー

地域の人口動態データの分析結果を考察し、優先的に取り組むべきと考えられる地域課題を提案し、政策立案に向けた検討を支援。
自治体で所有しているデータをアップロードすることで応用分析を行うことも可能。

＜アップロードすることで分析できるデータ＞

- 地区別の人口構成
- 婚姻件数及び平均年齢、夫婦の初婚年齢
- 出生順位別の出生数の推移
- ライフステージ毎の人口増減
- 出生数、母親の年齢（5歳階級）



地域間比較

自地域の分析結果と、類似地域の分析結果を比較することで、自地域の特徴を考察することを支援する機能。
自地域を含め3つの地域を同時に比較することが可能。
類似地域：財政力指数、農業地域類型



Ⅱ 地域におけるデータ活用の普及促進施策

RESASの普及促進の主な取組例

地方創生☆政策アイデアコンテスト

RESAS等を活用して地域の状況などを分析し、データから地域を元気にするアイデアを広く募集する。地方創生担当大臣賞、優秀賞等を授与。



地方創生☆政策アイデアコンテスト 受賞者への実現支援

地方創生☆政策アイデアコンテストの受賞者に対して、有識者によるアイデアの具体化や事業スキーム構築、実証のサポート等の支援活動を実施。



政策立案ワークショップ

地方公共団体や地域の多様な関者によるデータに基づく施策の立案及び実現を推進する。

1～3回構成でテーマを設定し、RESAS等による現状分析を行うとともに、EBPMの考え方に基づいた政策立案や施策の検討、効果検証を行う。



RESAS研修・出前講座

RESASやデータ利活用の普及促進のため、政策調査員により、RESAS分析手法や活用事例を紹介する研修活動を実施。地方公共団体や地域企業等の地方創生の担い手が地域経済に関するデータを活用したエビデンスに基づいた政策の企画立案（EBPM）や経営判断を行うことで、地方創生の実現に向けた取組を効果的に進められるよう、情報面から支援。

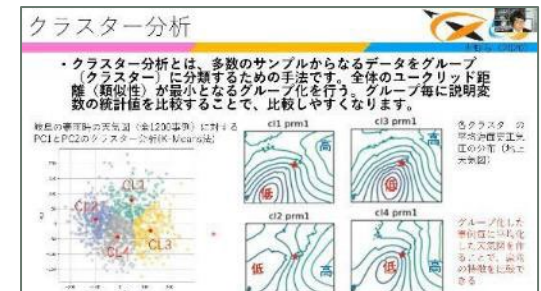
教育の取組 （RESAS for Teachers）

教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、HP上で公開。授業等におけるRESAS活用の推進を図っている。



データ分析セミナー

オンライン会議ツールの普及を踏まえ、対面での研修活動に加え、オンラインでセミナーを実施。これまでに実施したセミナーの動画（YouTube掲載）や資料は内閣府HPから視聴可能。



地方創生☆政策アイデアコンテスト2024について

- RESAS、RAIDAを活用して地域の状況を分析し、データの力で地域を元気にするアイデアを広く募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を2015年度から毎年開催。2024年度の応募総数 **1,475件**。
- 募集期間：2024年6月11日(火)～9月19日(木)
- 最終審査会：**2024年12月7日(土)**
- 場所：中央合同庁舎8号館 講堂 ※オンライン・対面のハイブリッド開催
- 審査部門：高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部(地方公共団体含む)、官民連携の部の区分で表彰
- 表彰数：**地方創生担当大臣賞3組、優秀賞6組** ※このほか、協賛企業賞を別途設定
- 地域区分：9ブロック(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄)

地方創生担当大臣賞受賞者の一例

【高校生・中学生以下の部】

【タイトル】養豚ガールズによる地方創生プロジェクト

【チーム名】熊本県立熊本農業高等学校／養豚プロジェクト

RESAS等により、熊本県の農業産出額が大きい一方、直近では養豚業が廃業している現状があることを把握。食料廃棄物を家畜飼料として活用したエコフィードを給餌した豚「くまもとの赤ぶた」を開発・ブランド化し、養豚業の安定経営を繋げることを提案。



The poster is for the '地方創生☆政策アイデアコンテスト2024' (Local Revitalization☆Policy Idea Contest 2024). It features the text 'あなたのアイデアがみんなを笑顔に' (Your idea makes everyone smile) and 'あなたの新しいミライを描こう!' (Let's draw your new future!). The final review meeting and award ceremony is scheduled for December 7, 2024, from 9:30 to 18:00 (subject to change). The event is held at the Central Contract Office 8th Building Lecture Hall and online. The chairperson is Iwano, Kenji (熊本県知事). The organizing committee includes the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and the Ministry of Health, Labour and Welfare. The poster also includes QR codes for registration and a link to the contest page.

政策立案ワークショップ

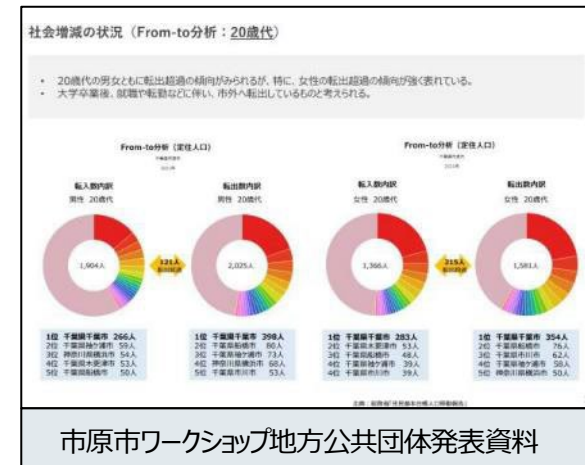
- 地方公共団体を対象にテーマを設定し、RESAS等のデータに基づく政策立案や施策の検討、効果検証などの**EBPMの一連のプロセスを、有識者等を招聘してワークショップ形式で実施する**取り組み。対象団体ごとに1～3回構成でテーマを設定。
- ワークショップで得られたデータに基づく施策の立案事例を全国に周知し、横展開を図る。

【開催実績】2023年度4回、2022年度11回、2021年度5回、2020年度1回、2019年度6回、2018年度10回

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/information/workshop_kekka.html

【令和5年度 開催実績】

- 2023年8月4日、9月27日 千葉県市原市**
テーマ：データに基づく移住定住施策のターゲット分析 有識者：東京大学大学院工学系研究科の浅見泰司氏
- 2023年8月17日 沖縄県うるま市**
テーマ：産業構造からみる市民所得向上戦略 有識者：株式会社富士通総研の山尾一人氏
- 2024年3月21日 長崎県佐世保市**
テーマ：人口減少の分析と今後の対策について 有識者：明治大学政治経済学部経済学科の鎌田健司氏



RESAS研修・各局の出前講座

- RESASやデータ利活用の普及促進のため、政策調査員により、**RESAS分析手法や活用事例を紹介する研修活動を実施。**
- 地方公共団体や地域企業等の地方創生の担い手が地域経済に関するデータを活用したエビデンスに基づいた政策の企画立案（EBPM）や経営判断を行うことで、地方創生の実現に向けた取組を効果的に進められるよう、情報面から支援。

■ RESAS研修・出前講座の概要

- 目的：
地域経済分析システム（RESAS）などのデータを活用し、地域経済をデータから分析し、政策立案や経営判断に生かすスキルの習得を目指す。
- 研修内容：
RESAS分析手法、RESASの活用事例等について、講義およびグループワークによる研修を実施。研修時間：2時間程度
- 研修先：
地方公共団体、教育機関、商工会議所等
- 派遣する講師：
内閣府地方創生推進室職員、各地方支分部局の職員・RESAS調査員、RESAS専門委員（有識者等）
- 実施件数：
年間200件程度



■ 研修例（出店計画の立案）



教育の取組（RESAS for Teachers）

- 2020年3月、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、「RESAS for Teachers」で公開。
- RESAS副教材の周知と教員間のコミュニティ形成により、自律的な地域人材の育成の発展を目指す、「RESAS de 地域探究」を実施。

■ RESAS副教材 概要

- 目的：
「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（歴史地理編）」にRESASが盛り込まれたことを背景に、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開し、データを通じた探究学習の普及及び地域人材の育成の強化を目指す。
- 教科／科目：
「地理総合」、「商業（観光ビジネス）」、「国語」、「情報」、「総合的な探究の時間」
- モデル授業案概要：
 - 学習指導案
指導計画、本時の学習など（学習活動・内容、指導上の留意点、教材・資料について記載）
 - 授業用スライド、ワークシート
 - 実践事例

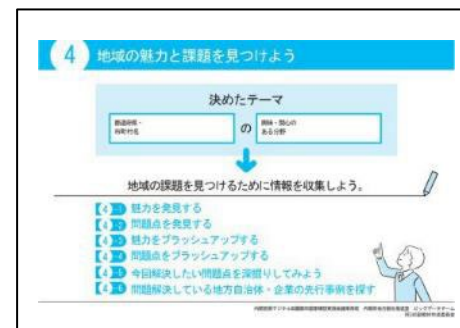
RESAS for Teachers <https://teacher.resas-portal.go.jp/>

RESAS de 地域探究 <https://tanq.resas-portal.go.jp/>

■ RESAS副教材 検討委員（所属は作成当時）

- | | |
|----------------------|--------|
| 学校法人札幌慈恵学園札幌新陽高等学校 | 高石 大道 |
| 学校法人品川女子学院 | 河合 豊明 |
| 長野県松本県ヶ丘高等学校 | 中谷 幸裕 |
| 金沢大学附属高等学校 | 岡 かなえ |
| 学校法人聖心学園 聖心学園中等教育学校 | 吉澤 陽 |
| 岡山県立倉敷商業高等学校 | 川崎 好美 |
| 徳島県立脇町高等学校 | 大久保 邦博 |
| 学校法人川島学園れいめい中学校・高等学校 | 上門 大介 |

RESAS副教材のワークシート例



データ分析セミナー

データ分析セミナー

➤ 目的

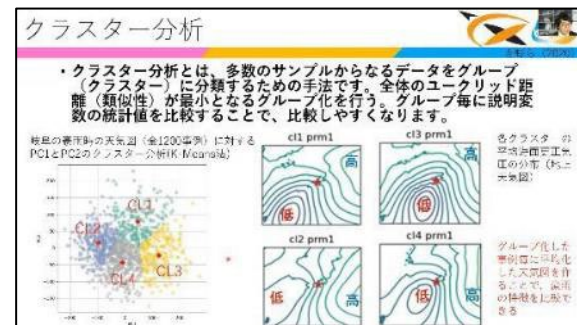
RESAS等を活用したデータ利活用スキル向上の支援を目的とする。

➤ 事業内容

毎月有識者を招き、オンラインセミナーを実施。

セミナー終了後、動画と資料をHPで公開している。

<https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/dataseminar.html>



開催実績(直近10回)

	開催日	テーマ	講師
第18回	2022年3月16日	地域活性化のための気象データ活用と実践	岐阜大学工学部附属応用気象研究センター 吉野 純氏
第19回	2022年3月25日	コロナ禍におけるテレワークの動向	ニッセイ基礎研究所 佐久間 誠氏
第20回	2022年4月15日	経済センサスから見る地域の現状	法政大学経済学部 菅 幹雄氏
第21回	2022年5月25日	地域の観光DX推進に向けた消費者購買データの活用策	株式会社True Data 米倉 裕之氏、越尾 由紀氏
第22回	2022年6月8日	地域健康課題解決のための健康・医療・介護・ライフスタイル環境等データの活用	筑波大学大学院 久野 譜也氏
第23回	2022年8月3日	ナッジを活用した政策立案と効果検証	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 西畑 壮哉氏
第24回	2022年9月14日	農業現場におけるデータ利活用の現状と展開	国立研究開発法人農研機構 深津 時広氏
第25回	2022年10月19日	データ可視化でみる都市と地域の今	データアナリスト 奈良 和紘氏
第26回	2023年8月30日	政策立案に役立つアンケート設計の考え方	株式会社データビークル 西内 啓氏
第27回	2023年10月10日	地域の医療・介護の持続を考えるための公的統計ツールの活用	津田塾大学総合政策学部 伊藤 由希子氏

データ利活用サイト「RESAS Portal」

- 地域経済に関するデータの利活用を支援するためのポータルサイトとして、2022年9月に開設。
- 地域課題別のデータ分析の視点や分析手法を紹介する地域課題分析ナビゲーション、RESAS等のEBPMツールの使い方紹介のほか、地域のデータを活用した政策立案事例などのコンテンツを掲載。

RESAS Portal トップページ



地域課題分析ナビゲーション



活用事例

活用事例									
全国各地の自治体や関係機関が活用しています。									
自治体	都道府県	国・自治体	関係機関	関係機関	関係機関	関係機関	関係機関	関係機関	関係機関
地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」
地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」
地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」	地方創生・政策アイデアコンテスト2022「学生が選ぶ地方創生政策」

RESAS等のEBPMツールの使い方紹介



検索機能



- RESASに掲載しているデータをAPI形式で取得・利用できるようにRESAS-API機能を提供しています。
- ※RESAS-APIの提供は2025年3月24日を以て終了いたします。**

RESAS-API トップページ



RESAS-API仕様書

はじめに

API概要

API詳細仕様

APIデータ更新一覧

RESAS-API一覧

共通

都道府県一覧

市区町村一覧

旧市区町村一覧（更新停止）

産業大分類

産業中分類

産業小分類（更新停止）

職業大分類

職業中分類

特許技術分野

特許技術テーマ

税関

輸出入取引国・地域

輸出入取引国・品目

農業部門

特許権者の所在地

輸出入品目・大分類

輸出入品目・中分類

輸出入品目・小分類

人口マップ

人口構成

※ 人口構成 **new**

人口ピラミッド

人口増減

人口ピラミッド

地域単位、年単位の人口ピラミッドデータを返します。

GET `api/v1/population/composition/pyramid`

データ提供年

1980-2045年（5年毎）
実績値は2020年まで、それ以降は推計値

RESAS対象マップ

人口マップ > 人口構成

※ リンク先のグラフ表示の際のパラメータは、すべて初期設定の値を使用しています。

parameters

Name	Description	Required
prefCode	都道府県コード	true
cityCode	市区町村コード 「すべての市区町村」を選択する場合は「-」を送ります。	true
yearLeft	年度1(左側) 1980-2045年（5年毎）	true

RESAS-API活用事例

ひなたGIS（地理情報システム）

- 地域の様々なデータを地図上に重ね合わせることができる統合型地理情報システム。【宮崎県情報政策課が開発】
- 平成29年3月の内閣府開催「RESASアプリコンテスト」で最優秀賞を受賞。平成29年5月12日にHPで一般公開。

1 特徴

- 簡単操作で統計データを地図上で見える化（RESASデータを含め約5,000件の統計データを掲載）
- 航空写真や古地図などマッピングする地図の選択が可能
- 2画面機能を搭載。時系列の地図を比較しながら新・旧の状況を分析が可能

2 活用実績

- 九州北部豪雨（平成29年7月）への対応の際、災害後の航空写真を本システムに取り込んで公開し、2画面機能を使って被害前後の状況を確認できるようにした。
- 実際に、福岡県東峰村などの自治体職員が現場の被害状況の把握に活用。

3 画面イメージ



地域課題分析ナビゲーション

- 地域でデータを活用した政策立案を支援するため、総合戦略等でよく扱われるテーマ（地域課題）について、EBPMの流れやデータ分析手法を紹介する参考資料として、地域課題分析ナビゲーションを整備。
- 各テーマ（地域課題）別に、分析の視点や使うべきデータ、基礎的な統計知識を記載。
- 現在は人口編、産業編を掲載しており、2023年度は感染症回復編、物価高騰・円安編、デジタル田園都市国家構想編を作成。
- 地方版総合戦略策定の際や若手職員を対象とした庁内研修等で活用が可能（編集自由）。



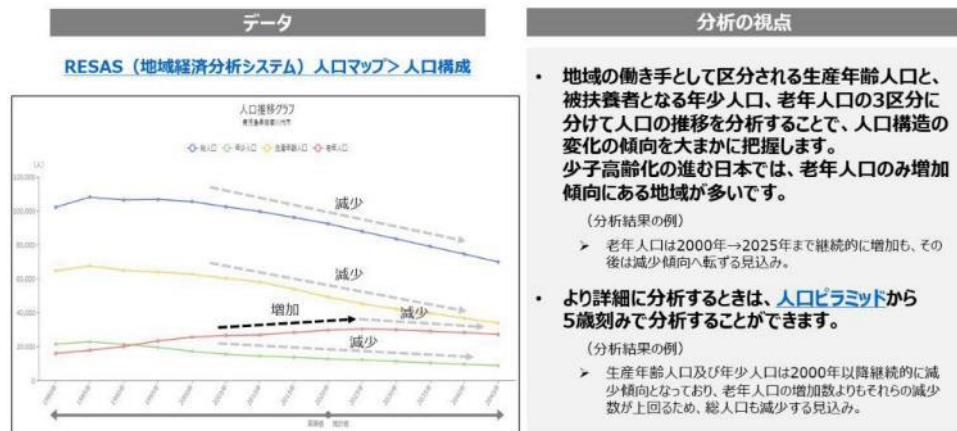
地域課題分析ナビゲーションのサンプル（テーマ：地域の人口減少）

分析の全体像：ステップに沿って分析を行うことで、優先的に取り組むべき人口課題を特定できます

ステップ	分析の概要	分析グラフ・データ
1 人口構成を把握する	自地域の人口推移及び人口構成を分析して、人口がどのように変化して、今後どうなるのかを把握します	・ 人口推移 ・ 人口ピラミッド
2 人口増減を把握する	人口増減の内訳（年齢区分、自然増減（出生数・死亡数）、社会増減（転入・転出数））を分析し、自地域の人口の変化がどのような理由で起こっているかを把握します	・ 人口増減 ・ 自然増減・社会増減の推移（折れ線） ・ 出生数・死亡数・転入数・転出数
3 自然増減を把握する	人口変化の一因である自然増減について、出生数および地域の少子化の背景（未婚率、有配偶出生率など）を分析することで、出生数の増減の要因を把握します	・ 合計特殊出生率と人口推移 ・ 地域少子化指標
4 社会増減を把握する	人口変化の一因である社会増減について、世代別、地域別の転入・転出を分析し、転入促進・転出抑制すべき世代、地域を把握します	・ 年齢階級別移動数の時系列分析 ・ From-to分析（定住人口）
5 将来人口推計を把握する	自地域の将来人口が自然増減、社会増減のどちらの影響をより大きく受けるのかを捉えて、改善すべき増減要因を把握します	・ 将来人口推計
6 人口構成をより詳細に把握する	自地域の人口構成をより細かい地域区分で分析することにより、課題を抱えている地域を把握します	・ 人口ピラミッドの編纂川内市データ加工 ・ 福岡市内市町村住民基本台帳人口より「年齢・性別別地域別人口」の作成（年齢別人口）
7 出生数の増減の要因を深掘りする	自然増減について、より深掘したデータで分析することで出生数を増やすために注力すべき施策の検討の参考にします	・ 鹿児島県「人口動態統計調査」 ・ 出生数は出生数、出生数、出生数、出生数 ・ 出生数は出生数、出生数、出生数、出生数 ・ 出生数は出生数、出生数、出生数、出生数
8 転入転出の要因を深掘りする	社会増減について、より深掘したデータで分析することで転入促進・転出抑制のために注力すべき施策の検討の参考にします	・ ダミーデータで表示 ※地域により、データの有無が異なります

人口推移

地域の人口推移及び人口構造の分析から、人口がどのように推移してきたか、今後どうなるのかを把握する

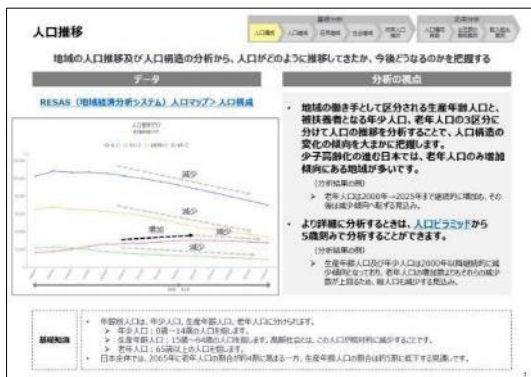


基礎知識

- 年齢別人口は、年少人口、生産年齢人口、老年人口に分けられます。
 - 年少人口：0歳～14歳の人口を指します。
 - 生産年齢人口：15歳～64歳の人口を指します。高齢社会とは、この人口が相対的に減少することです。
 - 老年人口：65歳以上の人口を指します。
- 日本全体では、2065年に老年人口の割合が約4割に高まる一方、生産年齢人口の割合は約5割に低下する見込みです。

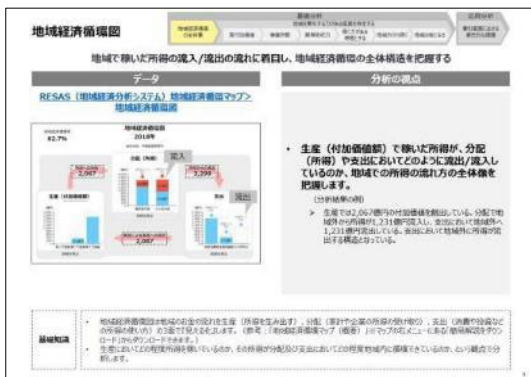
地域課題分析ナビゲーション

テーマ①地域の人口減少対策



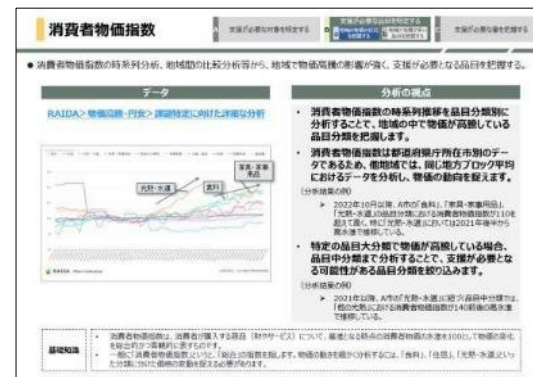
少子化、高齢化、地域の働き手の減少、過疎化といった課題を抱える地域では、地域から都市への人口流出、若者世代の減少に伴う出生率低下のデータに着目することで、人口減少要因を分析する。

テーマ②地域の産業活性化



地域の中核となる産業づくり、労働生産性の向上、人材・事業所の誘致といった課題を抱える地域では、地域経済循環や、付加価値額・事業所数・従業者数のデータに着目することで、地域の牽引産業を分析する。

テーマ③物価高騰・円安編



地域における物価高騰・円安の影響を把握するため、生活者支援と事業者支援のそれぞれについて、「支援が必要な対象」、「支援が必要な品目」、「支援が必要な量」を明らかにし、物価高騰・円安における優先的に支援すべき地域課題を特定する。

テーマ④デジタル田園都市国家構想編



デジタル田園都市国家構想の実現に向けた地方の社会課題解決・魅力向上のための各取組における強み・課題の分析を行い、それらを踏まえたデジタル実装施策の検討を行う。

テーマ⑤感染症からの回復に向けた地域施策の効果検証



地方公共団体等で実施する施策等の効果を検証し、施策の見直しや改善を行うための具体的な検証方法を提示し、新型コロナウイルス感染症からの回復に向けた課題における効果検証を行う。



2025年大阪・関西万博への出展

- 2025年大阪・関西万博において、会場内で期間展示を行うほか、万博を契機としたオープンデータ利活用の普及啓発を実施予定。データ利活用、EBPM推進に資するコンテンツ、未来感あるデジ田構想実現社会の映像コンテンツ等を展示する。

地域データの可視化によるデータ利活用の推進

①実施概要

- 全国各地の地域の魅力や特徴を示すデータを活用し、地域の魅力発信とEBPMへの理解を醸成する活動を行う。
- 万博FLE会場・バーチャル会場では、地域が抱える社会課題に対して、地域のオープンデータを活用した地域課題の特定から、地方創生の実現に向けたデジタルを活用した課題解決までの一連の体験を提供する。また、各地域の特徴を示すデータやデジタル実装状況の可視化データにふれる体験を提供することで、地域の魅力のPRや地方創生の実現に向けた取組の理解促進を図る。
- 万博会期前後において展示コンテンツを特設ウェブサイト等で提供することにより、大阪・関西万博の機運醸成を図るとともに、レガシーを継承し更なるデータ利活用の推進を図る。
- 万博開催に向けた機運醸成として、会場となる大阪・関西エリアや自らの居住地域の特徴について、地域経済等に関するデータから理解を深める教育コンテンツを作成し、教育機関等へのデータ利活用の普及活動を実施する。

(実施主体) 内閣府地方創生推進室、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

(実施場所) FLE(フューチャーライフエクスペリエンス) およびバーチャル会場、特設ウェブサイト

(実施期間) 開催前後期間を含む全会期中[FLEでの展示は2025年5月13日～19日予定]

連絡先 内閣府地方創生推進室ビッグデータチーム

03-3581-4541

<https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/index.html>

②今後の実施方針

- 地域データを活用した未来の地域体験コンテンツ及び特設ウェブサイトの作成
- デジタル田園都市データ分析評価PF機能改善
- 教育コンテンツの活用推進

特設ウェブサイト
「みらいふるさと by RESAS」
(2024年度中公開予定)



教育コンテンツ
「ジュニアEXPO
2025教育プログラム×RESAS」(公開中)



③予算

令和6年度補正予算額：34百万円の内数 令和5年度補正予算額：90百万円の内数

https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r06/yosan_r6_hosei.pdf https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r05/yosan_r5_hosei.pdf

④工程表

2024年度

2025年度

地域データを活用した未来の地域体験コンテンツの設計・制作

特設サイト等によるコンテンツ先行提供

ブース・ステージ出展準備

- データからみえる地域の魅力発信
- データ利活用による未来社会の体験を提供しデータ利活用の普及促進

データで地域の理解を深める教育コンテンツを提供・活用推進 / デジタル田園都市データ分析評価PF機能改善

展示期間中：万博FLE会場にて体験
展示期間外：特設サイトにて公開

全国のRESAS担当部局一覧

- RESASの普及を目的として、地方公共団体・教育機関・商工会議所等の地域団体が主催する勉強会・研修会等に、各地方支分部局及び内閣府の職員を派遣しております。
- RESASに関するご相談等がございましたら、お近くの経済産業局にお問い合わせください。

問合せ先	担当部局	電話番号	メールアドレス
内閣府	地方創生推進室	03-3581-4541	j.resas.j9j@cas.go.jp
北海道経済産業局 (北海道)	総務企画部 企画調査課	011-709-1775	bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp
東北経済産業局 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	総務企画部 企画調査課	022-221-4861	bzl-thk-resas@meti.go.jp
関東経済産業局 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)	地域経済部 地域振興課	048-600-0267	bzl-kanto-kikaku@meti.go.jp
中部経済産業局 (富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県)	地域経済部 地域振興・人材政策課	052-951-8457	bzl-tiikishinkouka-gyoumu@meti.go.jp
近畿経済産業局 (福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	地域経済部 地域連携推進課	06-6966-6013	bzl-kin-resas@meti.go.jp
中国経済産業局 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	総務企画部 企画調査課	082-224-5626	bzl-cgk-kikaku@meti.go.jp
四国経済産業局 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	総務企画部 企画調査課	087-811-8507	bzl-sik-resas@meti.go.jp
九州経済産業局 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)	地域経済部 地域経済課	092-482-5574	bzl-kyushu-sousei-pf@meti.go.jp
内閣府 沖縄総合事務局 (沖縄県)	経済産業部 企画振興課	098-866-1727	bzl-resas-okinawa@meti.go.jp

※全国各地地方支分部局のRESAS担当部局一覧（地方創生HP RESAS関連ページ）

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/information/index_keisankyoku_madoguchi.html

Facebook/YouTube/X (旧Twitter) /Instagram でも情報発信中！



Facebook

<https://www.facebook.com/cascaobdt/>

「ビッグデータチーム」で検索！



<https://www.youtube.com/channel/UckwDhyiJ6DifwKeG8C6bkew>

「RESASチャンネル」で検索！



X (旧Twitter)

https://twitter.com/RESAS_official

「@RESAS_official」で検索！



Instagram

https://www.instagram.com/resas_official/

「@resas_official」で検索！



RESAS関連サービス 最新情報メールマガジン

登録はこちらから <https://nmg.cao.go.jp/cao022/subscribe.php>

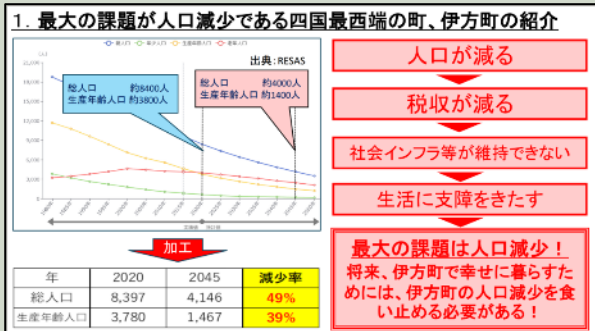
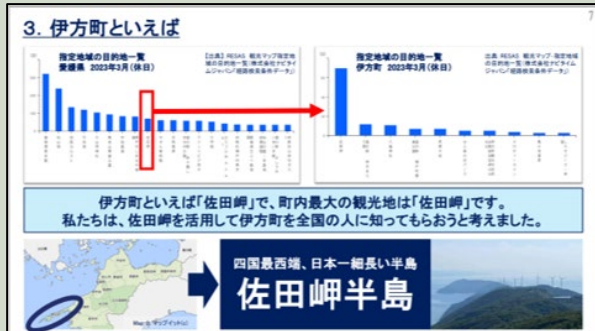
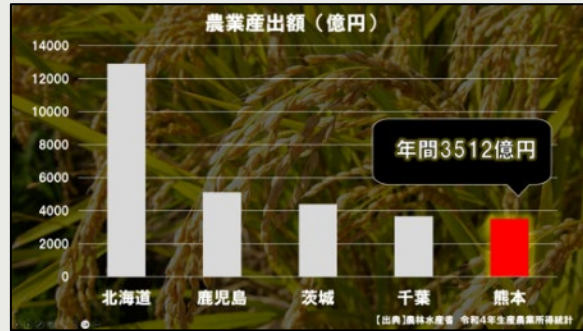
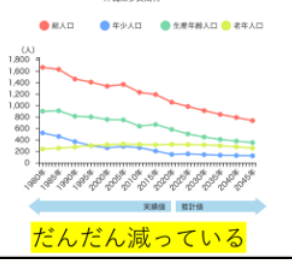
(参考) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2024最終審査会進出者 一覧

・ 高校生・中学生以下の部（発表順）

代表 ブロック	北海道	東 北	優秀賞 関 東
分析地域	北海道 羅臼町	岩手県 花巻市	静岡県 東海道の宿場町があった地域
所属・ チーム名等	北海道釧路湖陵高等学校／羅臼ちゃんねる！	岩手県立花巻北高等学校／revolutions	東京学芸大学附属竹早中学校／ 深町 旬
タイトル	ふるさと納税で「鱒ふく」食べよう！ ～羅臼の海から絶品お届け～	デジタル×観光で花巻に革命を	新たな旅のスタイル「本物旅」による地方創生
政策アイデア	羅臼の特産品である鱒や鮭を使用したオリジナル商品を開発し、ふるさと納税の受入を強化するアイデアを提案。	常時提供するAI観光コンシェルジュサービスと、年1回程度開催する温泉以外の観光施設もめぐるデジタルスタンプラリーを組み合わせ、観光資源を最大限に生かすことを提案。	「人との交流」「深い体験」「本物志向」を重視した新たな旅のスタイルである本物旅を提案。
応募者の プレゼン ーション	白糠と羅臼の人口構成！ https://reass.go.jp/region/cycle/map/1/01668/2/2018/ 1 サケかま 定置網漁で採れた鮭をかまぼこ化！！ 世界一美味しいオリジナルかまぼこ誕生か！？！？	「花巻の観光の現状」 花巻市の1年間の宿泊者は岩手県内でも多く、県庁所在地の盛岡市に次ぐ人数となっている。 目的地検索回数を見ると、温泉ばかりが検索されており、その他の観光施設はあまり検索されていない。つまり、温泉ばかりが目まぐると言えよう。 温泉宿泊者が花巻の観光施設に訪れることで大きな経済効果が生まれるのではないだろうか？ 温泉宿泊者が花巻の観光施設を訪れることで大きな経済効果が生まれるのではないだろうか？ 温泉宿泊者が花巻の観光施設を訪れることで大きな経済効果が生まれるのではないだろうか？	02 現状分析(東海道の現状) 静岡～四国中 少子高齢化 04 本物旅とは 人との交流を重視し思いやりづくり「交流観光」

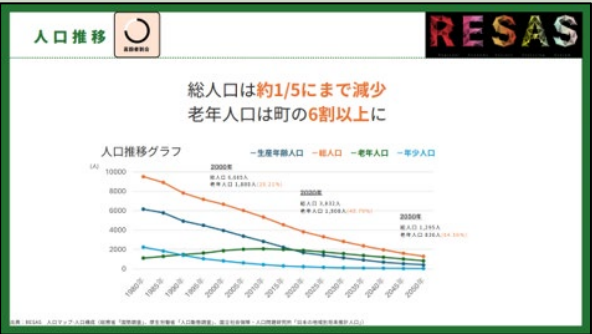
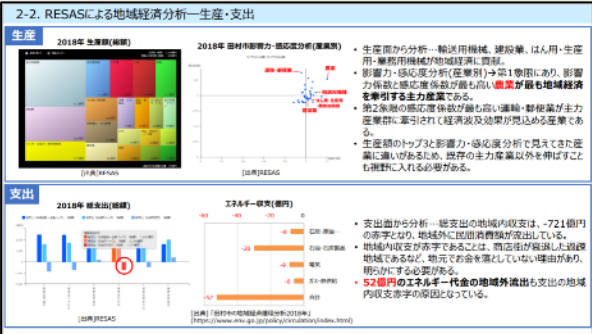
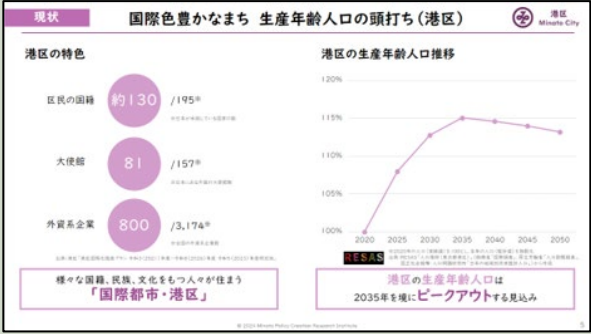
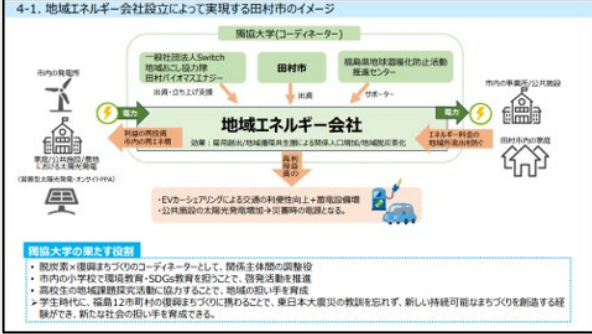
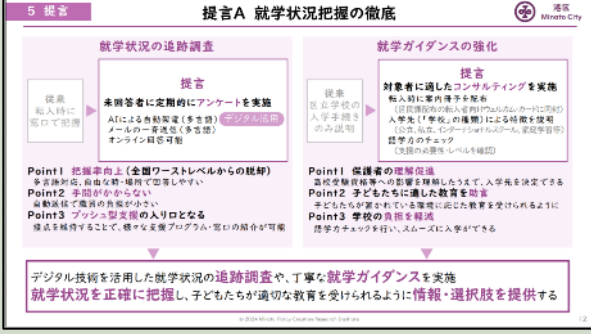
(参考) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2024最終審査会進出者 一覧

・ 高校生・中学生以下の部（発表順）

代表 ブロック	優秀賞	四 国	大臣賞	九 州	沖 縄
分析地域		愛媛県 伊方町		熊本県 全域	沖縄県 多良間村
所属・ チーム名等		愛媛県立三崎高等学校／さだ岬爆誕		熊本県立熊本農業高等学校／養豚プロジェクト	麹町学園女子中学校／多良間村のお昼ご飯
タイトル		「佐田岬」の弱みを強みに変えて 伊方町の知名度アップで人口減少ストップ！		養豚ガールズによる地方創生プロジェクト	多良間村の環境問題
政策アイデア		熊本県菊陽町を参考に、伊方町最大の観光地である「佐田岬」のプロモーションを実施し、企業誘致をすることを提案。		食料廃棄物を家畜飼料として活用したエコフィードを給餌した豚「くまとの赤ぶた」を開発・ブランド化し、養豚業の安定経営に繋げることを提案。	これまで廃棄されていたバガスを加工して、環境にやさしい容器やストローの原料として再利用するアイデアを提案。
応募者の プレゼン ーション		1. 最大の課題が人口減少である四国最西端の町、伊方町の紹介  人口が減る → 税収が減る → 社会インフラ等が維持できない → 生活に支障をきたす → 最大の課題は人口減少！ 将来、伊方町で幸せに暮らすためには、伊方町の人口減少を食い止める必要がある！ 3. 伊方町といえば  伊方町といえば「佐田岬」で、町内最大の観光地は「佐田岬」です。私たちは、佐田岬を活用して伊方町を全国の人に知ってもらおうと考えました。 四国最西端、日本一細長い半島 佐田岬半島	 農業産出額（億円） 年間3512億円 北海道 鹿児島 茨城 千葉 熊本	解決策 バガスを利用して、色々なものに加工して販売などする。 例) 糸、紙、肥料、サトウキビのストローなど  バガス	多良間村の課題・悩み ○今の課題 ・人口が少ない  だんだん減っている

(参考) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2024最終審査会進出者 一覧

・ 大学生以上一般の部 (発表順)

代表 ブロック	北海道	東 北	優秀賞	関 東
分析地域	北海道 木古内町	福島県 田村市		東京都 港区
所属・ チーム名等	公立はこだて未来大学／公立はこだて未来大学 「AI時代の地域の未来をデザインする」プロジェクト木古内チーム	獨協大学経済学部国際環境経済学科／ 米山ゼミ地球温暖化防止プロジェクト		港区／港区政策創造研究所 政策研究会第10期特別研究員グループB
タイトル	社会的処方で木古内町を元気に	福島県田村市における再エネを活用した 分散型エネルギーシステム構築の提案		外国人の子どもの学びの保障 -真の多文化共生社会の実現に向けて-
政策アイデア	高齢者に社会参加の機会を処方し、活動のポータルサイトへの掲載やデジタルデバイスを活用したイベントの開催により、高齢者が孤立しない社会を実現するための取組を提案。	生産が盛んな鶏卵や、えごまの農営地での営農型太陽光発電や地域エネルギー会社を設立し分散型のエネルギー社会を目指すことで域外への所得流出の防止や農家の新たな稼ぎに繋げることを提案。		就学状況把握の徹底、外国人親子向けプレスクールの設置、担当部門の創設により、外国人の子どもの学びを保障するアイデアを提案。
応募者の プレゼン テーション	 人口推移 総人口は約1/5にまで減少 老年人口は町の6割以上に 人口推移グラフ RESAS	 2-2. RESASによる地域経済分析-生産・支出 生産 支出		 現状 国際色豊かなまち 生産年齢人口の頭打ち(港区) 港区の特色 港区の生産年齢人口推移
	 社会的処方で解決 社会的処方×DX で解決できる	 4-1. 地域エネルギー会社設立によって実現する田村市のイメージ 国成大学(コーディネーター) 地域エネルギー会社		 5 提言 提言A 就学状況把握の徹底 就学状況の追跡調査 就学ガイダンスの強化

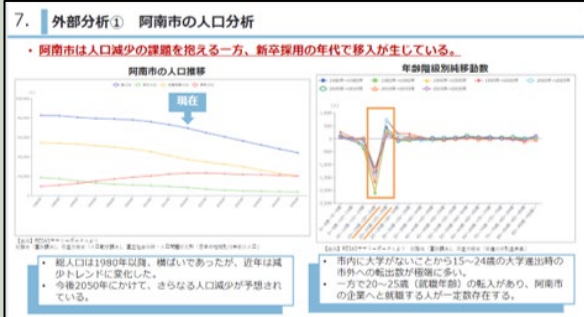
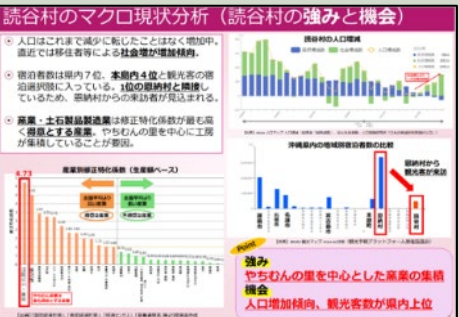
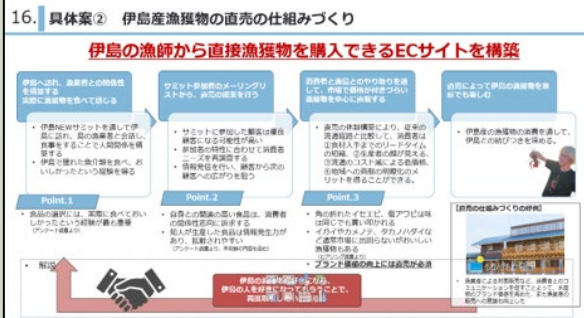
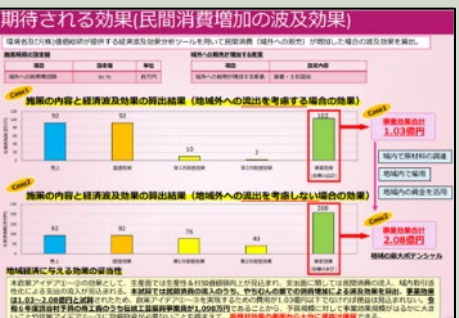
(参考) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2024最終審査会進出者 一覧

- ・ **大学生以上一般の部（発表順）**

[illegible]

(参考) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2024最終審査会進出者 一覧

・ 大学生以上一般の部（発表順）

代表 ブロック	大臣賞	四 国	九 州	沖 縄
分析地域		徳島県 阿南市	熊本県 全域	沖縄県 読谷村
所属・ チーム名等		株式会社東京久栄・産業能率大学／ 株式会社東京久栄×産業能率大学松尾ゼミ	熊本県立大学／井田研究室	読谷村商工会／YOMITAN地方創生チーム
タイトル		～伊島の夜明けは離島の夜明け～ ヒトとヒトとの交流を軸とした伊島crewの提案	移住者を増やして地方創生～移住者と地域が 共に育む豊かな未来～	読谷村のやちむんが創る 新しい地域経済のカチ
政策アイデア		[政策アイデア]ワークショップなどのイベント開催や、漁師から直接漁獲物を購入できるスキームの構築によって関係人口の増加を目指すアイデアを提案。	定住を見据えたコミュニティづくりに繋がる移住プランとして、「ドライブ型移住」や「二段階移住」を提案。	やちむん産業（焼き物産業）に携わる従業者増加や組織化、商品開発による高付加価値化を図り、地域経済循環率の向上と地域住民所得の向上につなげることを提案。
応募者の プレゼン テーション		7. 外部分析① 阿南市の人口分析 ・阿南市は人口減少の課題を抱える一方、新卒採用の年代で移入が生じている。  ・総人口は1980年以降、横ばいであったが、近年は減少トレンドに変化した。 ・今後2050年にかけて、さらなる人口減少が予想されている。 ・市内に大学がないことから15～24歳の大学進出時の市外への流出が深刻に多い。 ・一方で20～25歳（就職年齢）の転入があり、阿南市の企業へと就職する人が一定数存在する。	1 ② 課題 2023年20代～50代転入者数上位3の都道府県  ① 10年間の転入転出人口変動 ・市内に大学がないことから15～24歳の大学進出時の市外への流出が深刻に多い。 ・一方で20～25歳（就職年齢）の転入があり、阿南市の企業へと就職する人が一定数存在する。 【現状を踏まえて】 ① 生産年齢人口が減少している ② 熊本市外への転入者が少ない	読谷村のマクロ現状分析（読谷村の強みと機会）  ・人口はこれまで減少に転じたことはなく増加中、直近では移住者等による社会力が増加傾向。 ・宿泊者数は県内7位、本県内4位と観光客の宿泊圏域に入っている。1位の那覇市と隣接しているため、那覇からの来訪者が見込まれる。 ・高業、土石製品製造業は修正特化係数が最も高く製造とする産業、やちむんの産を中心に工場が集積していることが特徴。 強み やちむんの産を中心とした産業の集積 機会 人口増加傾向、観光客数が県内上位
		16. 具体案② 伊島産漁獲物の直売の仕組みづくり 伊島の漁師から直接漁獲物を購入できるECサイトを構築  ・伊島の漁師から直接漁獲物を購入できるECサイトを構築 ・伊島の漁師から直接漁獲物を購入できるECサイトを構築 ・伊島の漁師から直接漁獲物を購入できるECサイトを構築	4 ① モデルプラン【アクティブプラン】  10:00 ドライブ＆集約 12:00 朝食 14:00 天竺寺をめぐりてお参り 16:00 地元のスーパーでショッピング 18:00 「おババ〜さん」天然温泉 温泉 20:00 入浴・食事	期待される効果(民間消費増加の波及効果)  ・読谷村の経済波及効果の算出結果（地域外への流出を考慮する場合の効果） ・読谷村の経済波及効果の算出結果（地域外への流出を考慮しない場合の効果） ・読谷村の経済波及効果の算出結果（地域外への流出を考慮する場合の効果）